

2001年10月19日

(社)長野県環境保全協会・共同調査

県民意識調査

# 「地球温暖化」

県民

報告書

( 2001年8月28日～10月3日実施 )

調査の設計	1
結果の概要	3
単純集計	4



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610  
<http://www.nagano-yoron.or.jp>

# 調査の設計

## 調査の目的

大気の温度が上昇する「地球温暖化」が世界的な注目を集めている。1997年には地球温暖化防止京都会議が開かれ、気温上昇に大きな影響があるとされる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出削減を目指して「京都議定書」が採択されたが、議定書が実行されるか危ぶまれているのが現状である。こうした状況を背景に、企業活動の見直しだけでなく、個人の生活スタイルの転換をはじめ、行政にも新しい施策の採用が必要とされるようになってきた。

昨年(社)長野県環境保全協会と連携して「環境 自分になにが可能か」の調査を行った。同協会は今年5月、県から「県地球温暖化防止活動推進センター」の指定を受けたが、これを機会に環境問題の各論版のひとつとして『地球温暖化』をテーマとして、本世論調査を実施した。県民及び県内事業所の意識や行動を広く聞き、日常生活の再点検や行政施策への提言に資するため、前回と同じく長野県環境保全協会との共同調査として行った。本編はそのうちの〈県民分〉である。

## 調査の設計

調査対象	長野県内に住む20歳以上の男女1000人
抽出方法	層化二段階無作為抽出法。対象者は各市町村の選挙人名簿から抽出
調査方法	郵送
調査期間	2001年8月28日～10月3日
調査地点	17市21町13村

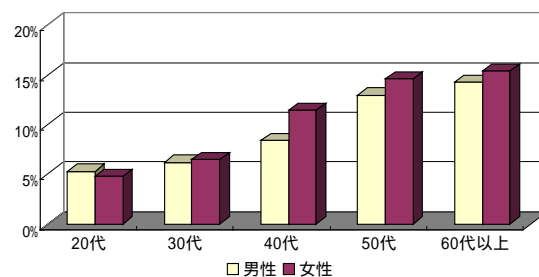
## 回収結果

有効回答数(%)	629人(62.9%)
----------	-------------

## サンプルの内訳

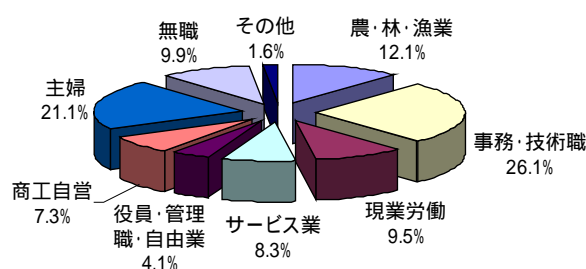
### 【性別と年代別】

	全体	20代	30代	40代	50代	60代以上
男性	297 47.2%	33 5.3%	39 6.2%	53 8.4%	82 13.0%	90 14.3%
女性	332 52.8%	30 4.8%	41 6.5%	72 11.5%	92 14.6%	97 15.4%



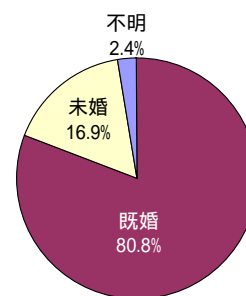
### 【職業別】

農・林・漁業	76	12.1%
事務・技術職	164	26.1%
現業労働	60	9.5%
サービス業	52	8.3%
役員・管理職・自由業	26	4.1%
商工自営	46	7.3%
主婦	133	21.1%
無職	62	9.9%
その他	10	1.6%



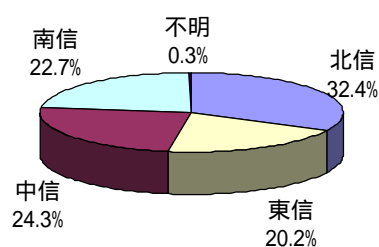
### 【結婚】

既婚	508	80.8%
未婚	106	16.9%
不明	15	2.4%



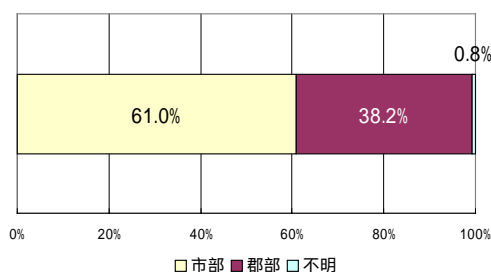
### 【居住地別】

北信	204	32.4%
東信	127	20.2%
中信	153	24.3%
南信	143	22.7%
不明	2	0.3%



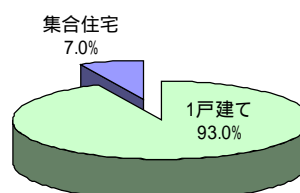
### 【市郡別】

市部	384	61.0%
郡部	240	38.2%
不明	5	0.8%



### 【住宅別】

1戸建て	585	93.0%
集合住宅	44	7.0%



## 結果の概要

今回の「地球温暖化」をテーマとした意識調査は、昨年8月から9月にかけて行った「環境」全般にわたる世論調査に引き続くものであり、本報告はその〈県民分〉である。

本調査から浮かび上がる「温暖化」に関する長野県民の意識像を設問のグループ分けごとにみると、おおむね次のようにまとめられよう。

### 温暖化問題をどう受け止めているか

県民は主にテレビ、新聞から温暖化についての情報を得ており、原因や温暖化によって生じる問題点を9割までが知っている。経済発展との関連では「調和を図りながら」が6割近くある中、温暖化防止を優先させるべきだとするのが3割にのぼっている。また、今後のエネルギー対策としては、環境への影響が少ない天然ガスなどの利用拡大を大多数が望んでいる。

### 日ごろの取り組みと負担増との兼ね合い

県民の8割までが日常生活の中で省エネルギーを実行している。省エネにそれほど熱心でない人のほぼ半数が「ただなんとなく」としており、「なにかと手間がかかるから」と2割の人が答えている。現在、省エネで実行している中身については、「古紙などをリサイクルへ」と「電気の消費量を抑える」が飛び抜けた高率を示し、今後実行しようと思うことでは自然の力の利用と車に関係する資源消費の抑制に関心が集まっている。

電気の消費量を抑制することに限った設問に対しては「スイッチをこまめに切る」ことが効果的とするのが、ほぼ7割を占めて圧倒的。同趣旨の設問で、車からの二酸化炭素排出を抑えるためには「長時間のアイドリングや急加速などをしない」「燃費の良い車やハイブリッドカーなどに買い換える」ことを効果的とする答えが高い比率を示した。

一方、リサイクルに関しては「ごみの分別収集や集団回収」を、県民の8割が実行している。このところの経済情勢の反映もあってか「余計なものは買わない」も5割強にのぼった。温暖化防止に配慮した商品なら「品質や性能によっては利用する」が7割を占めた。環境新税の導入については賛成と反対が拮抗している。

### 国や地方の行政に望むこと

資源を大切に使い、排出物を有効活用する「循環型社会づくり」については、3割台半ばがリサイクル運動をしている自治会や市民団体への支援・補助を求めている。環境ネットワークづくりと学校教育の大切さがともに3割台にのせている。温暖化防止のための「京都議定書」については、6割近くが「早期批准」を求めているが、約3割は態度を決めかねているようだ。

今後個人として、温暖化防止に「取り組みたい」としているのは9割を上回っており、「積極的に」も2割にのせている。

## 単純集計

「知っている」 9割の高率に

問1 あなたは、地球温暖化の原因やそれによって生じる問題をどの程度知っていますか		
詳しく知っている	38	6.0%
ある程度は知っている	532	84.6%
まったく知らない	17	2.7%
なんともいえない	41	6.5%
不明	1	0.2%

6割近くが「干ばつや食糧不足」を挙げる

問2 あなたは、地球温暖化を考える上でどのようなことが心配ですか		
異常気象による干ばつや食糧不足	358	56.9%
北極や南極の氷や氷河が解け出すことなどによる海面の上昇	128	20.3%
気候変動による洪水や砂漠の拡大	88	14.0%
野生動植物の種の減少や植生の変化	33	5.2%
その他	4	0.6%
とくにない	6	1.0%
わからない	9	1.4%
不明	3	0.5%

ランク低い「自治体の広報」

問3 あなたは、地球温暖化についての情報を主に何から得ていますか(2つ以内)		
テレビ	547	87.0%
新聞	472	75.0%
雑誌や書籍	100	15.9%
口コミ	29	4.6%
講演会など社会教育	23	3.7%
仕事を通じて	17	2.7%
自治体の広報	16	2.5%
学校教育	10	1.6%
インターネット	4	0.6%
NPOなどのパンフレット	3	0.5%
その他	2	0.3%
特になし	8	1.3%
不明	2	0.3%

「温暖化防止を優先」 3割に迫る

問4 あなたは、地球温暖化防止と経済発展の関係について、どのようにお考えですか		
経済発展との調和を図りながら取り組んで行くのが良い	358	56.9%
経済発展を多少犠牲にしても温暖化防止を優先させるべきだ	184	29.3%
経済発展とはおのずから両立すると思う	18	2.9%
経済発展は重要だから温暖化防止より優先させるべきだ	11	1.7%
なんともいえない・わからない	53	8.4%
不明	5	0.8%

## 「天然ガスや太陽熱、風力など」が圧倒的

問5 あなたは、地球温暖化を防止するため、今後どのようなエネルギー対策を望みますか		
天然ガスや太陽熱、風力など環境への影響が少ないエネルギーの利用を広げる	408	64.9%
省エネルギー施策を充実させる	142	22.6%
小規模水力発電の開発を進める	23	3.7%
原子力発電をもっと増やす	20	3.2%
その他	5	0.8%
何も行う必要はない	0	0.0%
わからない	24	3.8%
不明	7	1.1%

## 8割までが「実行している」

問6-A あなたは、省エネルギーをどの程度実行していますか		
かなり実行している	54	8.6%
まあまあ実行している	446	70.9%
ほとんど実行していない	78	12.4%
なんともいえない	39	6.2%
不明	12	1.9%

## ほぼ半数が「ただなんとなく」

問6-B (前問Aで「ほとんど実行していない」「なんともいえない」とお答えの方にお聞きします) それはどうしてですか		
なにかと手間がかかるから	27	23.1%
自分だけやっても仕方がないから	11	9.4%
必要を感じないから	4	3.4%
その他	14	12.0%
ただなんとなく・わからない	57	48.7%
不明	4	3.4%

## 首位は「リサイクル」 次いで「電気の消費量を抑える」

問7 あなたは、省エネルギーについて、日ごろどのようなことを実行していますか		
	現在	
古紙、空き缶、びん、ペットボトルなどはリサイクルに出す	570	90.6%
電気の消費量をなるべく少なく抑えるよう心がける	481	76.5%
物を買う時はなるべく長く使えるものを選ぶ	396	63.0%
日用雑貨などはなるべく再生品など環境に影響が少ない製品を買う	302	48.0%
住居の断熱効果を高める	202	32.1%
車に関係する資源消費が全体として減らせるよう配慮する	161	25.6%
太陽光や太陽熱など自然の力をなるべく利用する	141	22.4%
その他	25	4.0%
とくにない	8	1.3%
不明	1	0.2%

「自然の力を利用」と「車に関すること」が上位に

問7 あなたは、省エネルギーについて、日ごろどのようなことを実行していますか		
	今 後	
太陽光や太陽熱など自然の力をなるべく利用する	319	50.7%
車に関係する資源消費が全体として減らせるよう配慮する	288	45.8%
住居の断熱効果を高める	214	34.0%
日用雑貨などはなるべく再生品など環境に影響が少ない製品を買う	212	33.7%
物を買う時はなるべく長く使えるものを選ぶ	128	20.3%
電気の消費量をなるべく少なく抑えるよう心がける	100	15.9%
古紙、空き缶、びん、ペットボトルなどはリサイクルに出す	39	6.2%
その他	10	1.6%
とくにない	95	15.1%

「こまめにスイッチを切る」 7割に迫る

問8 あなたは、日ごろの生活で電気の消費量を抑えるためには、どのようなことが効果的だとお考えですか(2つ以内)		
電気機器のスイッチをこまめに切る	430	68.4%
冷暖房を利用する時は温度設定を控えめにする	283	45.0%
家電製品は省電力型を選んで購入する	228	36.2%
冷蔵庫のドアの開閉回数を少なくする	97	15.4%
3階程度の昇り降りはなるべく階段を使う	58	9.2%
テレビを見る時間を減らす	55	8.7%
「サマータイム制度」を導入し行動時間を朝の方へずらす	50	7.9%
電気料金に環境保護のための新税を付加する	26	4.1%
その他	7	1.1%
とくにない・わからない	1	0.2%
不明	2	0.3%

過半数が「長時間のアイドリングや急加速などをしない」

問9 あなたは、車から二酸化炭素排出を減らすためには、どのようなことが効果的だとお考えですか(2つ以内)		
長時間のアイドリングや急加速・急発進をしない	352	56.0%
燃費の良い車やハイブリッドカー、小型車に買い換える	274	43.6%
通勤や買い物にはなるべくマイカーの使用を控える	145	23.1%
車利用は最寄駅までとし、あとは公共交通機関に乗り換える「パークアンドライド」を普及させる	115	18.3%
車内冷房は温度設定を控えめにする	114	18.1%
交通量の多いところでは渋滞の原因となる路上駐車をしない	96	15.3%
ノーマイカーデーを普及させ、できるだけ相乗りをする	61	9.7%
マイカーは持たない	22	3.5%
その他	13	2.1%
とくにない・わからない	6	1.0%
不明	5	0.8%

## 8割が「ごみの分別収集や集団回収」を挙げる

問10 あなたは、リサイクルに関して主にどのようなことを実行していますか(2つ以内)		
ごみの分別収集や集団回収に協力する	502	79.8%
余計なものは買わない、買ったものは大切に使う	340	54.1%
スーパーなどで行っているトレイや紙パックなどのリサイクルに協力する	257	40.9%
古着はリフォームしたり、着回しをする	68	10.8%
バザーやフリーマーケットに積極的に参加する	24	3.8%
リサイクルに関するシンポジウムやセミナーなどに参加し情報収集に努める	15	2.4%
その他	4	0.6%
とくに実行していることはない	3	0.5%

## 「品質や性能による」が断然トップ

問11 あなたは、地球温暖化防止に配慮した商品なら、価格が多少高くても利用しますか		
品質や性能によっては利用する	461	73.3%
普通の商品より価格が高ければ利用しない	81	12.9%
利用する	50	7.9%
利用する気はない	4	0.6%
なんともいえない・わからない	27	4.3%
不明	6	0.1%

## 「賛成」「反対」 2割台で並ぶ

問12 二酸化炭素の排出量を減らすために、環境新税を導入するべきだという意見があります。あなたは、この新税を受け入れることをどうお考えですか		
導入に賛成	156	24.8%
導入に反対	172	27.3%
なんともいえない・わからない	294	46.7%
不明	7	1.1%

## トップは「自治会や団体への支援・補助」

問13 あなたは、資源の無駄づかいを抑え、排出物を有効活用する「循環型社会づくり」のために、国や地方の行政にどのような施策を望みますか(2つ以内)		
リサイクル運動などを行っている自治会や市民団体への支援や助成をする	226	35.9%
住民・事業者・行政が対等の立場で協力する環境ネットワークづくりを進める	205	32.6%
学校で「循環型社会づくり」の教育を強める	190	30.2%
「循環型社会づくり」に役立つ技術の開発や普及を図る	183	29.1%
法律や条例を新しく制定して循環型社会への転換をうながす	162	25.8%
「循環型社会づくり」に役立つ機器などの購入に対する補助などを拡充する	106	16.9%
「循環型社会づくり」を解説したパンフレットの配布や啓発活動を進める	91	14.5%
その他	9	1.4%
とくにない・わからない	16	2.5%
不明	7	1.1%



## 6割近くが早期批准を求める

問14 あなたは、地球温暖化防止のための「京都議定書」批准問題に日本はどう取り組むのがよいと思いますか		
早く批准するべきだ	360	57.2%
当面、アメリカと共同歩調を取る方向がよい	68	10.8%
批准には反対	3	0.5%
その他	5	0.8%
なんともいえない・わからない	182	28.9%
不明	11	1.7%

## 「取り組む」 9割を超す高水準

問15 あなたは、地球温暖化を防止するため、今後は個人としてどのように取り組みたいとお考えですか		
積極的に取り組みたい	130	20.7%
できる部分があれば取り組みたい	462	73.4%
取り組むつもりはない	4	0.6%
なんともいえない・わからない	27	4.3%
不明	6	1.0%